

富山大学学術研究部社会科学系（経済学部）

経営学（経営戦略論） 教員公募

1. 部局名 学術研究部社会科学系  
(経済学部経済経営学科)

2. 職名および人員 助教（任期 7 年、再任可） 1 名

3. 専門分野 経営学（経営戦略論）

主な担当授業科目

【学部担当科目】

- 専門授業科目：経営戦略論 - A・B,  
経営学入門（オムニバス形式）など
- 各種ゼミナール科目
- 教養教育科目
- その他授業科目

【大学院担当授業科目】

- 専門授業科目  
経営戦略に関する科目  
課題研究 など

※この他、関連する科目をご担当いただく場合があります。

4. 応募資格

- ①大学院博士課程修了者または単位取得（いずれも見込みを含む）、あるいはそれと同等以上の研究・教育能力があると認められる方。
- ②筆頭著者である査読付き論文が 1 編以上ある方（掲載予定も可）。ただし、掲載を証明する書類を提出すること。
- ③科学研究費補助金等外部資金の獲得に意欲があること。
- ④全学の数理・データサイエンス・AI 教育プログラムに積極的に寄与できること。
- ⑤地域貢献活動等、全学的活動に積極的に寄与できること。
- ⑥日本語での授業が可能な方。英語での授業が可能であると望ましい。
- ⑦入試業務等に携わる意思があること。
- ⑧教養教育に貢献できること。
- ⑨外国人留学生の教育に熱意がある方。

5. 採用年月日 令和 8 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い日

6. 応募締切日 令和7年12月5日（金）17時必着  
※応募状況によっては、応募締切日を延長する場合があります。

7. 応募書類 ①履歴書（所定様式。写真貼付、学会等の活動について記載すること。  
また入試委員の経験の有無についても記載すること）  
②著書、論文等の別刷り（コピー可）。提出のない研究業績は審査しません。公刊予定の研究業績については、編集者等による原稿提出済み証明書（様式自由）を付すこと。証明書のない研究業績は審査しません。  
③研究業績目録（記入例あり。「学術論文・査読付」、「学術論文・査読無」の順にすべての研究業績を記載し、各業績について400字程度の要旨を付け、また、主要業績3点について、タイトルの冒頭に○印を付すこと。原著論文について、応募者が「責任著者」である場合は、氏名の右に「（\*責任著者）」と記載すること）記載例あり。  
④外部資金獲得状況一覧（科研費と科研費以外に分け、所定の様式に過去10年間の実績を記載し提出すること。実績がない場合はその旨記載し提出すること）  
⑤教育実績書（様式自由。実績のある方のみ）  
⑥最終学校の修了（見込）証明書、単位取得（見込）証明書または卒業証明書

8. 選考方法 応募書類による審査および面接  
(面接は、非対面形式により実施する可能性があります)

9. 応募先 〒930-8555 富山市五福3190 経済学部事務室  
国立大学法人富山大学学術研究部社会科学系長（経済学部長）  
※ 封筒の表に「経営戦略論教員応募書類在中」と朱書きの上、書留郵便とすること。応募書類は原則として返却しません。

10. 問い合わせ先 ①公募について  
国立大学法人富山大学人社系総務課（経済学部事務室）  
TEL 076-445-6401 E-mail ecosoumu@adm.u-toyama.ac.jp  
②給与等について  
国立大学法人富山大学総務部人事課  
TEL 076-445-6524  
※ 問い合わせに際しては、「経営戦略論」に関する旨を明らかにしてください。

11. 備考 ①提出書類の追加送付は原則として認めません。

- ②面接に要する経費（旅費、宿泊費、通信費等）は支給しません。
- ③提出いただいた書類に含まれる個人情報は、選考および採用以外の目的には使用いたしません。
- ④国立大学法人富山大学職員就業規則により定年は65歳です。
- ⑤国立大学法人富山大学では、年俸制（退職時に退職手当を支給する年俸制）を導入しており、本公募による採用者も年俸制を適用します。

○富山大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

富山大学ダイバーシティ推進宣言に基づき、全学的に女性研究者を含め多様な人材が活躍できるよう、教育・研究活動と生活の両立支援、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいます。

男女共同参画推進やダイバーシティの取り組みは以下URLをご覧下さい。

〔ダイバーシティ推進センター〕 <http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>

〔富山大学ダイバーシティ推進宣言〕

<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/other-info/gender-equal/>

○若手研究者の積極的な応募を歓迎します。